

平成29年度 健康寿命延伸プロジェクト優良事例表彰団体・企業

※賞	※団体・企業名	※活動および取組内容
特別賞		<p>【活動目的】 スローイングビンゴの普及を通じて、スローイングビンゴの愛好者の交流を深め、地域の生涯スポーツや文化の振興、健康の保持増進に寄与する。</p>
	部門共通	<p>【設立経緯】 スローイングビンゴは、平成10年、当時栗東町体育指導委員であった市川知幸氏が考案し、その後栗東市（町）体育指導委員協議会（当時）で検討を重ね、栗東発ニュースポーツとして、平成17年ジャパンスローイングビンゴ協会が結成された。毎年行われている</p>
	<p>【運動】 ジャパンスローイングビンゴ協会 （栗東市）</p>	<p>「ジャパンスローイングビンゴ大会」は今年で11回目となり、市内21チーム、市外、県外より21チームの42チーム参加。</p> <p>【活動内容、効果】 スローイングビンゴの指導者を養成し愛好者を増やすことで、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの振興に努めている。特に地域の老人クラブには愛好者が多く、無理なく体を動かし頭も使うスポーツとして好評である。毎年開催する「ジャパンスローイングビンゴ大会」では、県内外から多数の参加を得ている。また地域の子どもの交流にも力を入れ、今年度2月には市民向けの「スローイングビンゴ小学生大会」を企画している。</p> <p>【年間事業】 4月 総会、 6月 審判講習会（38名受講） 審判登録者100名、7月 栗東市スポーツ推進協議会主催ふれあいニュースポーツ大会協力 9月 ジャパンスローイングビンゴ大会、10～11月 放課後子ども教室（4回）、2月 スローイングビンゴ小学生大会、その他理事会（年数回） ビンゴ制作（随時）</p>